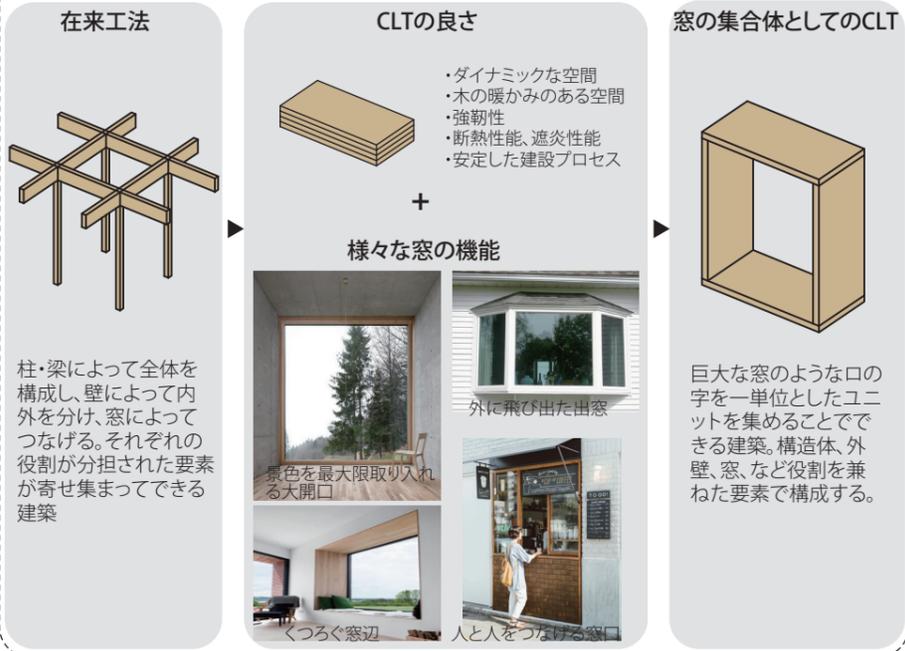




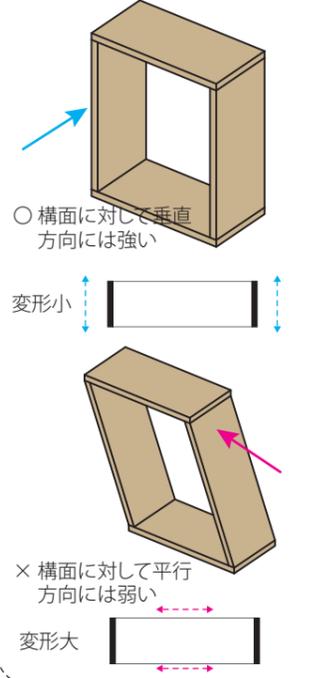
窓としてのCLT

柱・梁を基本要素とした在来構法→CLTの板材によるCLT構法→そして窓型をユニットとした新しい構法へと進化させることで、今までにない新たな住空間を提案します。
窓型のユニットは構造体として機能するだけでなく、景色を取り入れ、人々をつなげるインターフェースとして機能します。

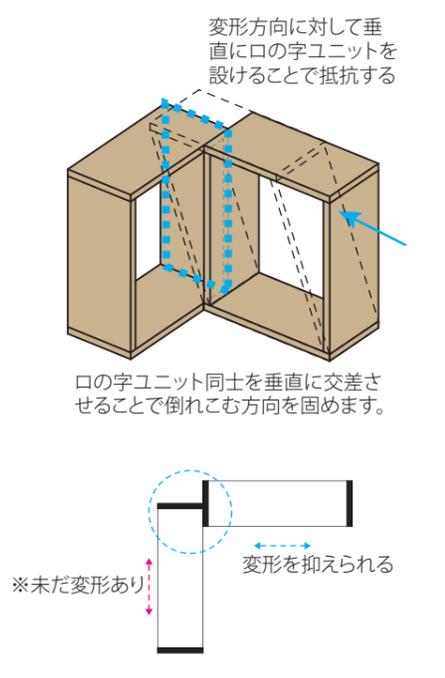


寄せ集まって強くなる構造

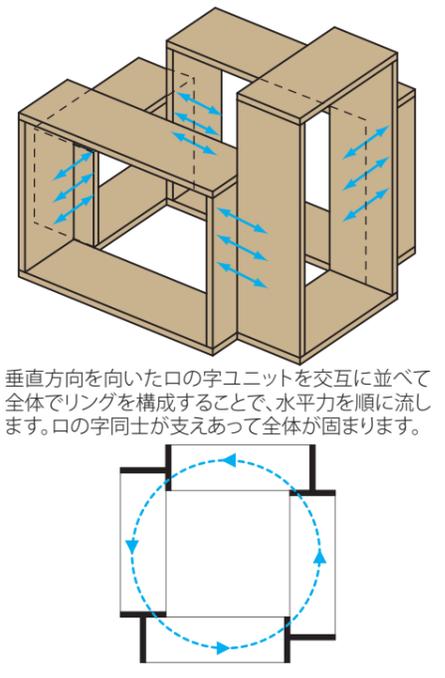
1.口の字ユニット…
構面に対して垂直方向には強く、平行方向には弱い特徴があります。



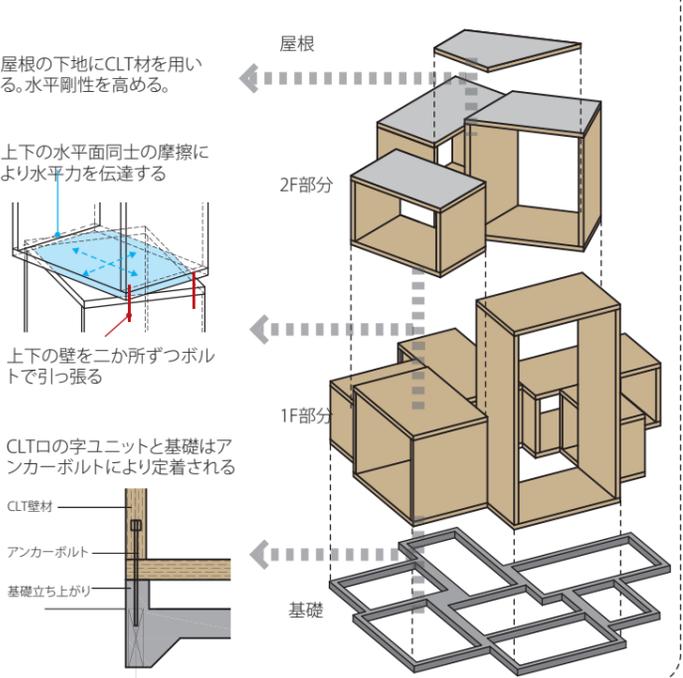
2.口の字ユニットを組み合わせる…
変形方向に対してもう一つの口の字ユニットを垂直に設置し変形を抑えます。

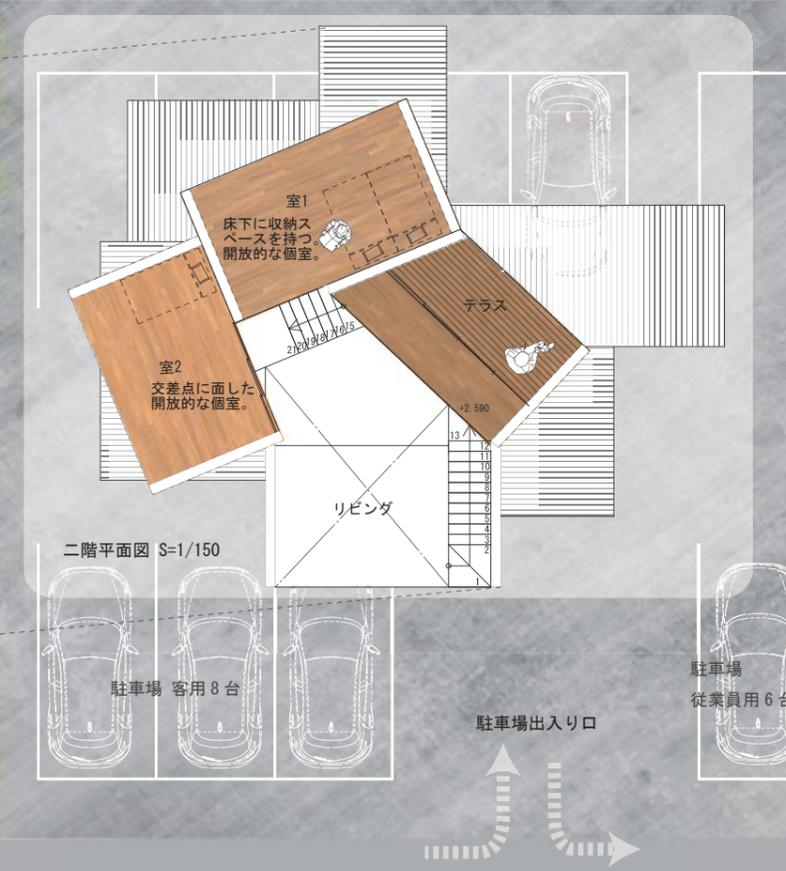


3.リング状のプラン…
口の字ユニットをリング状に並べることで全体を構造要素とします。



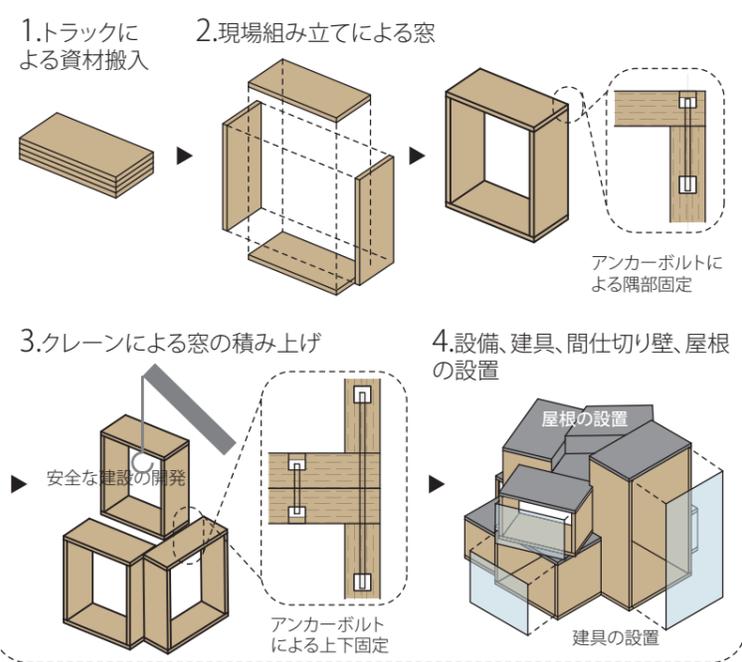
4.リングの積層…
リング状に並べた口の字ユニットを積層させます。上下の水平面同士の摩擦により水平力を伝達できるため、口の字を載せるだけという単純な工法で構成できます。





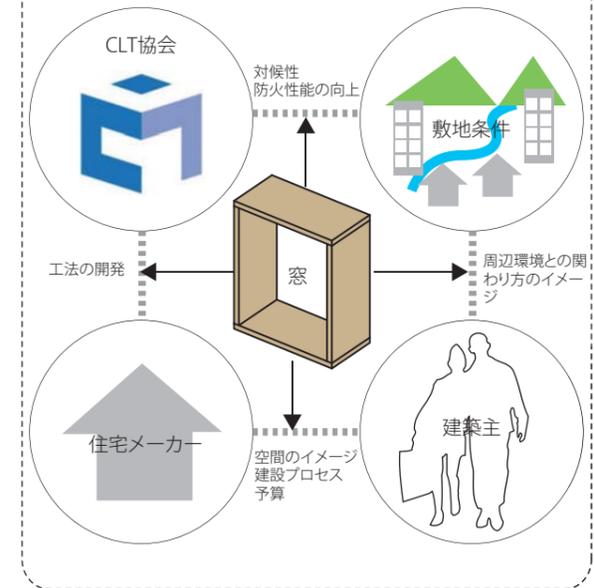
容易な建設プロセスの開発

施工現場までのCLT材搬入→窓の現場組み立て→クレーンによる窓の積み上げ→金物による固定→設備、建具、間仕切壁の設置。以上の流れをスムーズに行うための建設プロセスの開発を提案します。



イメージしやすい、コミュニケーションツール

窓の集合体というシンプルなルールで建築を構成することで、お客様にとって、新しい生活の場となる住宅をわかりやすくイメージしてもらえることを期待します。CLT協会、建築主、住宅メーカー、設計者、施工者など様々な人々が共有できるコミュニケーションツールとしての窓を提案します。



窓を介した家族の関係

家族の一人一人に外とダイレクトにつながった窓があり、内側においても中央の吹き抜けを挟んでそれらの窓が向かい合った構成とすることで、一人であること、家族であることを共に豊かにするような住まいとします。窓辺から外の風景を見るように家の風景を感じ、大きな風景に取り囲まれながら家族の団欒を囲みます。



街に開かれた建築をめざす

モデルハウスは新しい公共性を持ちうるビルディングタイプです。モデルハウスは住宅よりも不特定多数の多くの人々が訪れ、商業施設よりもアットホームで落ち着く親密な空間が提供される場所です。モデルハウス自体を開放性のある建築とすることで街に開かれた場所を作り出します。

